



みなかぜ通信

vol.11 春号 H27.4.20 発行



巻頭言

医療機能評価認定取得から1年を振り返って

平成26年1月6日に医療機能評価の認定を取得し、1年以上が経過しました。取得後の3月より“喉元過ぎれば熱さ忘れる”といったことにならぬよう、『病院機能向上委員会』を新設して、更なる医療の質の向上に努めてまいりました。



↑
当院を彩る今年の桜です

この一年間の取り組みの一つとして、“マニュアルの更なる整備と十分な活用”を推進し、職員の業務改善や医療の質の向上への意識がさらに高まるよう取り組みました。まだまだ十分とは言えないところがありますので、これからもマニュアルの見直し、活用状況を把握し、業務改善に取り組んでまいります。

新年度のスタート

“「新」チーム医療・元年”

新年度となり、当院の新たな目標を
と掲げ、ご来院いただく皆様に、より信頼され、より愛される病院、そして成長し続ける病院を目指すこととしました。



今後も皆様からのご指摘、ご意見を頂き、それらを糧に当委員会を活性化し、職員一丸となって掲げた目標を達成したいと考えます。皆様、これからも当院を温かくお見守りください。

病院機能向上委員長 石原 浩二



医療法人せいわ会 **みなかぜ病院**

発行責任者 院長 堤 啓

〒819-1124 福岡県糸島市篠原西 1-14-1

TEL 092-322-3261 URL <http://www.minakaze.jp/>

【病院理念】

快適な医療環境と患者本位の医療サービスを提供します。

【基本方針】

- ・患者とご家族の皆様が安心できる医療環境づくりに努めます。
- ・地域と連携し、社会貢献に努めます。
- ・患者の社会復帰と自立に向けた支援に努めます。
- ・医療従事者として自己研鑽に努めます。
- ・安定した病院経営基盤の確保に努めます。



日本医療機能評価機構
認定第 JC1945 号

糸島地区精神障害者交流会に参加して

今回で7回目を迎える交流会が、2月17日に行われ、当院からはデイケアメンバーが参加しました。内容は、例年同様風船バレー、カラオケ、グループトーク、ビンゴゲームであり、楽しい一日となりました。

風船バレーでは、当院のみ2チームが参加し、全6チームで試合が行われました。予選は2パートに分かれて3チームでの総当たり戦であり、当院は2チームとも予選1位で勝ち抜き、当院同士の決勝戦となりました。これまで優勝実績がなかっただけに、他施設の方からはうらやましがられての対戦となりました。



熱戦!!

風船バレーボール	3回総当たり戦(Aコト)
Aコト 2組	対 伊都立病院
可也病院	対 伊都立病院
風船バレーボール	決勝戦(Aコト)
Aコト 1組	対 みなかぜ病院 B
みなかぜ病院 A	対 みなかぜ病院 B
優勝	みなかぜ病院 B
準優勝	みなかぜ病院 A

優勝&準優勝



グループトークでは、“最近楽しかったこと”等のテーマで、7グループに分かれて話しました。どのグループからも弾んだ会話や笑い声が聞かれました。

帰途の際、疲れた表情の中にも、賞品を手に満足そうなデイケアメンバーの表情が印象的でした。私自身初めて参加させて頂きましたが、一緒に楽しい一日を過ごすことができ、次回もまた参加したいと思いました。

デイケア室 南里智清

可憐な歌声に心和む!! ~『カラオケのど自慢大会』開催~

2月26日に『カラオケのど自慢大会』を開催しました。

出場者は、入院中の患者様で各病棟から3名ずつとデイケアより通所者3名、計15名で、皆さん日頃の練習の成果を最大限に発揮されていました。大勢の観客を前に、緊張しながらも一人ひとりの個性が生かされた、素敵な歌声でした。職員から選ばれた審査員のコメントにもユーモアがあり、会場の皆さんからの拍手、笑いがあふれかえっていました。



特別賞



最優秀歌唱賞



優秀歌唱賞



スタッフを含めた参加者全員が心から和み、楽しむことのできた『カラオケのど自慢大会』でした。

3病棟 伊藤ゆかり



特集!!

花粉症対策



今回は、「間違った花粉症対策」について、いくつかご紹介します。

Q、お茶、アロマテラピー、ヨーグルトなどで花粉症が治る？

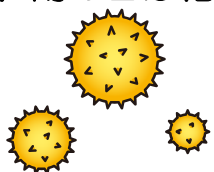
A、残念ながらこれらは治療薬ではありませんので、発症した花粉症の症状をしっかりと抑える効果は、基本的に期待できません。花粉症の症状軽減について報告されているものの中にはありますが、ポリフェノールの抗酸化作用や乳酸菌のプロバイオティクス効果などは、アレルギーに対しては薬ほど大きくありません。薬でしっかりと治療することが大前提です。根拠がしっかりしていないものも多く存在しますので、注意する事が必要です。

Q、花粉症は症状が出てから治療すればよい？

A、毎年、花粉症でつらい思いをしている方は、症状が出る前や軽いうちから治療を開始する初期療法をおすすめします。花粉が飛び始める2週間位前から第2世代抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬などの経口治療薬を投与する治療法です。前もって薬を飲み始める事で症状が出る時期を遅らせ、花粉が飛び最盛期の症状を軽くする効果が期待できます。

Q、雨・曇りの日は花粉飛散が少ないというのは本当ですか？

A、雨の日は花粉の飛散が少ないと思われま。しかし、雨の日の翌日は雨で落ちた花粉が乾いて再び飛散するので、飛散する量はかえって多くなります。曇りの日も風が強い日などは注意しましょう。花粉シーズンには、花粉週間予報をチェックしてからお出かけ下さい。



Q、どんな服を着ていても症状に関係ない？

A、衣服についた花粉を室内に持ち込むと、家の中でも症状がつかくなってしまいます。ウールなど花粉がつきやすい素材は、極力避けた方が良いでしょう。特にコートなどは、すべすべした素材がおすすめです。女性の場合は、首筋をガードするスカーフの使用も効果があります。また、静電気は大敵です。市販されている花粉をつきにくくするスプレーなども有用かもしれません。



いずれにせよ、花粉症は医療機関を受診して医師による治療を受ける事が肝心です。自分の症状をしっかりと医師に相談し自分に合った治療薬を処方してもらい、花粉症シーズンを乗り切りましょう。

(担当：吉田千枝)

今号より始まります“委員会だより”。初回は、この「みなかぜ通信」を作成、発行している『広報委員会』が担当します。

広報委員会は、8名の構成員で、月1回の定例会議、掲示物の管理、広報誌の発行、ホームページの管理が主たる役割となっています。掲示物の管理については、構成員による日々のチェックに加え、2ヶ月に1回の頻度で、掲示物管理台帳を基にしたチェックを行っています。また、広報誌は、広報誌作成チームにて毎月打ち合わせ会議を行い、より良い広報誌を作ろうと努力しています。

決して十分とは言えない点が多々ありますが、ご来院頂いた方の目に触れる掲示物で、不快な思いをされないよう、そして広報誌やホームページを通じて当院をもっともっと知って頂けるよう、更なる努力を続けてまいります。

最後に、この広報誌をご覧いただいている皆様にお願ひがあります。もっと親しみをもって頂ける広報誌にしたいと思っておりますので、皆様からのご意見、ご指摘等をお待ちしております。

広報委員会副委員長 横山弘幸

職員紹介リレー

ハイタッチ!!



氏名： しばた りな 柴田 梨奈
部署： 事務部医事課
趣味： ライブ鑑賞
ドライブ



一言： 現状に満足することなく、常に学び、
精進していけるよう努力します。

編集後記

穏やかな春の陽気を感じる季節となりました。皆様、元気にお過ごしでしょうか？

『春眠暁を覚えず』ということで、つい寝過ぎてしまいがちですが、早寝早起きを心掛けて、日々健康的に、そして花粉に負けないように過ごしていきたいと思います。